



ササラ踊り



かき氷 七時二十分。行列を作って待っていた夜店が開店です。今年もボンボンなどの小物、トウモロコシ、かき氷、綿あめ、焼き鳥の店が用

ビンゴ大会 途次からビンゴ大会が始まりました。景品をもらい嬉しそうなお顔が見られました。不順な天候の夏であり、一日でしたが、いろんな不都合を吹き飛ばす内田のまとまりを再認識した一日でした。

綿あめ 然一体となつていい雰囲気です。踊りの参加者がやや少ないのが残念でした。

八月十四日の夜、恒例の盆行事「ササラまつり」が盛大に行われました。今年も、不順な天候の八月。十四日の朝の準備も、途中から雨降り。午後三時過ぎに雨が上がり、午後三時の判断も微妙でしたが、「夕方雨はあるが、一時的ですぐ上がる」との主人さんの予報を信じ、開催が決定されました。

五時から子どもササラまつりです。子ども会育成会の夜店や、図書視聴覚委員会と館報編集しました。三味線、尺八、歌声、太鼓、ササラの音。渾然一体となつていい雰囲気です。踊りの参加者がやや少ないのが残念でした。

夜六時三十分。いよいよ「ササラまつり」の開始です。内田の誇り「ササラ踊り」が始まりました。三味線、尺八、歌声、太鼓、ササラの音。渾然一体となつていい雰囲気です。踊りの参加者がやや少ないのが残念でした。

雨も吹き飛ばした！ ササラまつり



平成 26 年 9 月 1 日現在

世帯数	941戸
人口	2,441人
男	1,217人
女	1,224人

意され、どの店も大賑わいです。かき氷は涼しくてちよつと苦戦しました。

「内田ってこんなに人がいたんだね。」会場にいた人の感想です。

途中からビンゴ大会が始まりました。景品をもらい嬉しそうなお顔が見られました。不順な天候の夏であり、一日でしたが、いろんな不都合を吹き飛ばす内田のまとまりを再認識した一日でした。

ご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。

第五町会 丸山宇一

子どものための防災訓練・宿泊体験

今年で5回目となりましたが、毎年参加している子どもや初めて参加する子ども、それぞれ感じたことや学んだことがあることが感想文から読み取れます。

9月1日は防災の日です。今一度災害について考えるきっかけに、子どもたちの感想文を紹介します。

なお、スペースの関係で抜粋とし、明らかな誤字等は修正し、ひらがなを漢字にしていますが、できるだけ原文のまま掲載させていただきます。

夜は、みんなで協力して、



避難所設営

ちよつと具合が悪い人やけがをしている人のためのことを考えました。とつてもよよくできていると思いました。

震度6強または7は、とつても怖いと思いました。

横山あずさ

地震の動画を見ていたら、すごいゆれていてビルや家がつぶれていたの、ちよつとコワかったです。家でもちゃんと準備をしておきたいです。家で、家族みんなで、みんな別々になつてしまった時、どこに集まればいいのか話したい。

山口純平

避難所を作りました。わたし

は少し具合が悪いチームでした。どのようしたら、ふかふかになるのか工夫してできてよかったです。あと、着替える場所を作る時に必要な材料を探してできてよかったです。

大洞榛斗



地震について学ぶ

地震は怖いものだったんだなと思いました。本当に災害があつた時は、カレーとかあんまり食べられないから、ピスケツなどの非常食なんだと知れてよかったです。災害があつた時に備えて準備をしておいたほうがいいと思つてよかったです。

奥原美桜

地震の動画を見て、震度7の震度はとても怖いと感じました。避難所はうまくできたと、工夫してブルーシートの上にダンボール、ダンボールの上に毛布をかけて、おじいちゃんとかがゆっくり休めるように工夫して、楽しかったです。

美ヶ原自然観察ウォークに参加して



美ヶ原

つけました。黄色い小さな花ですが、力強さを感じました。

王ヶ鼻までの途中雨が降ってきてしまいました。松本の市街地がよく見えました。王ヶ鼻にある石仏は御嶽の方向を向いているとのことでした。

王ヶ鼻までの道では雨と霧で周りの景色を見る事ができませんでしたが、昼食を済ませた頃には霧も晴れて遠くの牛まで見渡せるようになりました。高原の遊歩道を山本小屋へ歩き出すと、ピンク色の花のハクサンフウロ、黄色い花のニッコウキスゲも観る事が出来ましたが、数が少なく咲き誇っているとまでは言えませんでした。

七月十九日(土)に公民館主催の美ヶ原自然観察ウォークに参加しました。参加者は十四名。公民館を松本市のバスで出発し、美鈴湖側から登りました。

美ヶ原自然保護センターに着き歩き始めると、岩の割れ目から咲いている岩金梅を見

史上初！2年連続 運動会雨天中止

九月七日午前六時。運動会実行委員会役員が集まり、グラウンドの状態を確認し、天候が回復してもグラウンド状態は回復する見込みがないとの判断に至り、運動会を中止する事に決定しました。

内田地区の三大行事の一つであり、全町会が一堂に会する唯一の機会である運動会が、二年連続で中止になったのは初めての事です。

前日の会場設営から、中止決定後の撤収まで、悪天候の中ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

美しの塔の鐘を鳴らし小休止。山本小屋に着く頃には汗ばむくらいいい天気になっていました。

最後に美術館を散策し、帰路に着きました。

第四町会 百瀬里恵子



ニッコウキスゲとハクサンフウロ

つれづれ編集記

異常気象と内田パワー

七月には南木曾で土砂災害が有り痛ましい結果となり、八月には、報道でしか知り得ませんが、西日本地区で豪雨

によって甚大な被害があり、多くの人命が犠牲になりました。幸いと言って良いのか、当地区では台風や大雨の被害は無く、危機感も薄れぎみです。

八月初旬は、三十五度前後の気温で夏らしく過ごしていた所、内田ササラまつりが近づくと十二日頃からお盆にか

7町会の夏祭り

7町会の夏祭りが7月26日に梨ノ木公民館で行われました。この夏祭りも今年で4年目を迎え、7町会の恒例行事として定着してきました。



当日は、大人と子どもを合わせて80人位の参加者で賑わっていました。祭りのメニューは「スーパードール拾い」、「バルーンアート」、「スイカ割り」、「流しそうめん」と盛り沢山です。特に「流しそうめん」では子ども

お蔭で町会内の交流をより一層深めることができたと思えます。

第七町会 前澤弘一

け、戻り梅雨ではないかと思う程の気温で、十六日までの間は一日に三回も四回も雨に祟られ、ササラまつりの準備も危ぶまれ、果たして祭りが実施出来るかどうかまで追い込まれました。

ここで驚きの内田パワーを見ました。公民館や実行委員会の執念が実り準備を進め、子どもササラまつりが始まる時間には雨がピタリと止み、内田ササラ踊りも実施され、大勢の人たちで賑わい大成功となりました。あの五日間雨に悩まされた中で、内田ササ

ラまつりの間だけ全く雨を寄せ付けず、準備万端・大盛況。片付けまで天候をも変えてしまいう内田パワーには驚きよ、つい笑いがこみ上げるしか無いと感じた次第です。

第八町会 小林政美